

予算特別委員会

注目事業 ピックアップ

平成29年度 予算徹底審議

環境づくり

歳入

ふるさと寄附金

収入 13億円
 平成28年5月2日から地場産品のPR、販売促進および産業活性化を図るため、地元産品の返礼品贈呈を開始。新年度は、更に、寄附受付のインターネット専用サイトを拡大。
 収入見込み13億円、経費見込額を7億1500万円計上した。

Q 全国的に制度自体の議論がある。本町の考えは。
A 返礼品は、農産物や町内の工業製品である。ものづくり幸田のPRと町の財源にしたい。

歳出

返礼品競争に巻き込まれないように。

Q 現行法制度の中で適正に運用していく。
A 法人町民税は、自動車関連企業の減収により、対前年度比6億4660万円の減収見込みとなった。
Q 財源確保のため、法人税割の超過税率採用は。
A 現状、考えていない。県内の超過税率適用自治体は、25.9%で74.1%は採用していない。本町の財源確保は、企業誘致による安定化に努めていく。

歳出

安全・安心

道路新設改良事業
 1億2600万円
Q 工事内容は。
A 野場横落線、深溝蛤沢線など12路線の工事である。
通学路交通安全対策
 新規 1000万円
 学校、教育委員会が点検し、安全推進会議で対策。
防犯カメラ設置
 173万円
Q 昨年度までの設置累計は。
A 124基。今年度は町内3箇所を設置予定。場所は警察と調整する。

消防

災害対策特殊救急自動車

新規 3000万円
消防操法大会参加
 新規 1199万円
Q 参加消防団は。
A 町内4分団からの選抜チームとする。5年に1回参加。今年は碧南市で開催。

環境

鳥獣害対策事業

331万円
Q 大幅増額の内容は。
A 侵入防止柵の修繕費、猟友会、捕獲委託費など充実させる。



インターネット 幸田町ふるさと寄附金サイト



更新予定のえこたんバス



平成24年度第3位入賞第2分団



ごみステーション

新規 52事業 11億4181万円

未来の笑顔につなげ

教育・文化



改修予定のつばきホール

町民会館管轄・照明改修
 新規 5億3400万円
 *建設から20年経過、老朽化がすすむ。さくらホールとつばきホールの首飾設備、舞台照明の改修をおこなう。
Q 工期と閉館時期は。
A 工期は、平成29年4月から来年3月まで。閉館は、成人式の翌日から3月15日まで。
図書館・プール修繕
 5400万円
島原市友好交流事業
 2805万円
Q 内容は。
A 姉妹都市提携に向けた諸費用。



幸田保育園

子育て

高校生カンボジア派遣事業
 新規 2300万円
Q 主催者は。
A KIA・幸田町ライオンクラブと町で。
(仮称)豊坂児童館建設
 児童館のない坂崎・幸田・豊坂学区への最初の建設。
 新規 1億9300万円
坂崎小学校整備
 児童の増加対策として、校舎増築。
 新規 5000万円
北部中学校施設整備実施設計
 新規 1700万円
学校トイレ改修工事
 洋式化5割目標
幸田みやこ認定こども園施設給付
 1億5313万円
幸田保育園大規模改修
 新規 2500万円



3月25日竣工 こども発達センター

放課後児童対策事業

9440万円
Q 今後のすめ方は。
A 平成30年度までに全小学校で6年生まで受け入れの計画。

子ども医療費無料化扶助

2億4684万円
Q 無料化対象を18歳高校生まで拡大は。
A 国・県の状況見ながら検討。新年度は見送る。

健康福祉

子ども発達センター運営整備負担金
 5997万円
基幹相談センター開設
 新規 1296万円
 障害者の相談支援事業を愛護協会へ委託する。
成年後見人支援事業
 新規 75万円

健康マイレージ事業

52万円
Q 普及状況は。
A 平成28年度の実績は466人。今後、対象者の拡大を図り目標を1500人とする。



お達者体操 (岩掘老人憩の家)

協働・参画・その他

NHK公開番組
 6月17日 教育テレビの公開録画(つばきホール)
 新規 55万円
ハッピーネス3館指定管理料
 3億2500万円
国民健康保険特別会計
 平成30年度から県下広域化。
Q 標準税率での町の負担増の抑制を。
A 不足時は、一般会計で対応。
介護保険特別会計
地域支援事業
 新規 9213万円
認知症カフェ施策委託
 新規 45万円
Q チーム体制は。
A 岡崎医師会にお願いし、編成。